

# 夢二の工芸 — 染色・刺繍、人形、竹工芸 —

竹久夢二(1884-1934)は、気持ちよく楽しい日常生活を願って、普段使いの工芸品を手がけました。機械や科学技術による大量生産よりも、地方の風土を尊重した「手仕事」による制作を重視しています。夢二は、大正初期から、夢二式美人画の装いを具現化した半襟や浴衣地をデザインし、昭和初期になると、アマチュアの人形制作グループ「どんたく社」を結成して仲間とともに、抒情を立体化しました。さらに、「榛名山美術研究所」の設立宣言文を発表し、絵画・木工・陶工・染織などの「新鮮な素朴な日用品」を研究・制作しようと企画しました。その後、竹工芸の産地へ依頼して完成した夢二デザインの竹籠に、「どんたく籠」と名付けています。

本展覧会では、工芸の街・金沢で、「染色・刺繍」「人形」「竹工芸」をテーマに、夢二の遺品等から成る「竹久家コレクション」の浴衣地類、東京国立近代美術館の人形、新潟県阿賀野市の二瓶武爾コレクションの竹工芸関連作品を中心に、夢二が携わった工芸作品や資料を展示します。絵画の平面世界を越えて生活空間に広がり、情緒に訴えかける、夢二の多彩な芸術をお楽しみください。



浴衣地「特製中形 四」  
大正4年(1915)頃、個人蔵  
(当館寄託「竹久家コレクション」)



浴衣地(リズム)(部分)  
大正末~昭和初期、個人蔵  
(当館寄託「竹久家コレクション」)



絵葉書「難による展覧会」  
昭和5年(1930)、当館蔵  
(「竹久家コレクション」)



「新潟美人(伝・勝丸)」  
昭和初期  
阿賀野市教育委員会蔵



「王春花卉」  
昭和初期  
阿賀野市教育委員会蔵



竹久夢二(右)と二瓶武爾(左)、「少年山荘」にて  
昭和6年(1931)撮影  
阿賀野市立吉田東伍記念博物館蔵

## イベントのご案内

※開催場所はすべて金沢湯涌夢二館内、要観覧料。※②のみ要事前申込。初回のみ要観覧料。

### ① 展示解説

当館の館長もしくは学芸員が展示の見どころを解説します。  
日時: 8月7日(日)、9月4日(日)、10月2日(日)、11月6日(日)  
14:00~(20分程度)  
※人数制限など最新の状況については当館HPにてお知らせいたします。

### ② 2回連続講座「夢二人形」

「夢二人形」をもとにした立体造形の講座です。  
全2回の講座で1体の人形を制作します。  
日時: 第1回 9月10日(土) 13:00~16:30  
第2回 9月17日(土) 10:00~16:30  
講師: 酒井麗子氏(人形作家) 材料費: 1000円  
持ち物: カッター、ピンセット 定員: 5名  
申込方法: 8月10日(水) 9:30~電話受付開始(先着順)  
※2回とも参加できる方に限ります。



完成イメージ(酒井麗子氏制作・撮影)

### ③ 子ども博物館セミナー

夢二図案のシルクスクリーン体験  
バッグやハンカチなどに夢二の図案をプリントします。  
日時: 8月13・14日(土・日) 27・28日(土・日)  
9:30~11:30、13:00~16:00  
材料費: 500円 協力: 金沢湯涌創作の森



完成イメージ

### ④ 夢二の「東京災難画信」展

夢二が「都新聞」に連載した関東大震災の絵入りルポを複製展示します。  
日にち: 8月27日(土)~9月4日(日)

### ⑤ 「夢二誕生日キャンペーン」オリジナルグッズプレゼント

夢二の誕生日を祝って、先着50名に当館オリジナルグッズをプレゼント。  
日にち: 9月16日(金)

## 金沢湯涌夢二館

Kanazawa Yuwaku Yumeji-kan Museum

石川県金沢市湯涌町144-1  
TEL (076)235-1112 FAX(076)235-1115  
https://www.kanazawa-museum.jp/yumeji/  
e-mail yumeji@kanazawa-museum.jp

休館日: 毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)  
開館時間: 9時~17時30分(入館受付は17時まで)  
観覧料金: 一般・大学生310円、団体(20名様以上)260円  
65歳以上210円(祝日無料)、高校生以下無料

【交通案内】  
・金沢駅よりタクシー約30分  
・金沢駅兼六園口より北鉄バス「湯涌温泉」行き約45分  
終点湯涌温泉バス停下車徒歩4分  
・北陸自動車道金沢東インターより約45分  
金沢西インターより約50分、金沢森本インターより約30分  
・兼六園(金沢市中心部)から車で約20分

